



(©Frank Shaven - CC BY-NC 2.0)

## ドイツは猫派で、犬の社会!?



皆さん、こんにちは！ Guten Tag！（グーテンターク）  
上越市の国際交流員、ディーツ・ヤニックです。このコーナーでは私の出身国であるドイツについて連載しています。



4回目は、家族の一員であるペットのお話です。

ドイツでは、45%の世帯がペットを飼っています。さらに、子どもがいる世帯では63%にもなります。特に人気があるのは犬と猫ですが、ハムスターなどの小動物も多く飼われています。ドイツと日本のペット事情を比較してみましょう。

2018年の犬の飼育数は、ドイツの940万頭に対し日本では890万頭でした。犬を飼っている世帯は19%で、日本の約13%よりも多いです。

猫はさらに飼育数が多く、2018年は1,480万頭で日本の約1.5倍です。また、猫を飼っている世帯の割合は23%にもものぼります。

ドイツでの犬と猫の飼育数を合わせると、29歳未満の人口よりも多くなります。

このように、ドイツは「猫派」の家庭が多いのですが、猫は家の中で飼うことが多いため、街中ではあまり見掛けません。



(©suak61 - CC BY-NC-ND 2.0)



(©Mimi - CC BY-NC 2.0)

一方、犬は日中に散歩に出掛けるため、街中でよく見掛けられます。公園を散歩するだけでなく、犬と電車に乗って買い物に出掛ける人の姿もあります。犬が入れないお店も多いので、お店の前にリードを結び付けて犬を待たせます。

最近は、飼っている犬を職場に連れていくことができる企業も増えています。

このような犬は、「オフィスドッグ」と呼ばれ、働く人のストレスの軽減効果をもたらすと言われています。

猫派のドイツは、結局、「犬の社会」でしたね！



(©hmboo - CC BY-ND 2.0)

またお会いしましょう！ Auf Wiedersehen！（アウフ ヴィーダーゼーエン）

東京2020オリンピック競技大会まであと **145日**  
東京2020パラリンピック競技大会まであと **177日**

※表示日数は3月1日時点です。

上越市  
オリンピック・パラリンピック推進室  
公式フェイスブックはこちらから▶



### 広報対話課から (☎025-526-5111)

●「広報上越3月15日号」は、3月12日(木)・13日(金)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

### 上越市の人口・世帯数

令和2.2.1現在。( )は前月との比較

男 93,530人 (-112人) 女 97,419人 (-136人)

合計 190,949人 (-248人) <人口増減内訳> 出生 94 転入 163 死亡 248 転出 257

世帯数 75,841 (-40) 数字は住民基本台帳に基づくもの

### 表紙のことは：できたよ、できた！

大潟区に上越体操場ジムリーナがオープンしました。2月1日(土)、2日(日)には、トライアルデーが開催され、多くの市民が施設を体験しました。トランポリンやつり輪などの体操器具に何度も挑戦する子どもたちの真剣な表情が印象的でした。ジムリーナから、新たなスターが誕生する日が楽しみですね。